

4年	単元名	自分の考えをつたえるには ～ おすすめの場所は？ ～	4時間
単元の目標	○自分の考えが明確になるように段落相互の関係などに注意して文章を書くことができる。 ○書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くことができる。 ○書いたものを読み返し、句読点や段落などに気をつけて書くことができる。		
日本語の目標	① 「～なら○○がいいと思います。」の文型を使って、自分の考えの中心を伝えることができる。 ② 「その理由は～からです。」「なぜならば～からです」を使って自分の考えを説明することができる。		
学習課題	読む人が行きたくなるように、自分の考えがはっきりと伝わるように書こう。		
主な学習活動	サイコロゲームをして、おすすめの場所への関心を高める。 ①家族で遊びにいくなら ②スポーツをするなら ③買い物をするなら ④・⑤・⑥～するなら (a: 自分の家の近くで b: ダラスで c: ダラスの近くで) はじめてダラスに来る友達には、どの場所をおすすめしたいか話し合う。 なぜその場所がおすすめなのか、理由や事例、組み立てを考えて意見文を書く。互いの意見文を読み合う。		

学習活動計画

時限	内容	活動	ポイント
1	学習課題をつかむ	めあて おすすめの場所を話し合おう	・写真を複数提示して関心を高めるとともに、その他の場所にもイメージを膨らめるよう、子どもの自由な発言を促す。
2	学習計画を立てる カードに書く	- グループで「サイコロゲーム」をする。(サイコロを振って出た面のテーマについて話すことで、経験を思い出す。) - はじめてダラスに来る友達にはどこがおすすめか考える。 - 学習計画を立てワークシートに書く。 - おすすめの場所カード(白)、理由カード(黄色)と事例カード(青色)の書き方を知る。 - 理由カードと事例カードの例を参考にして、考えたことや経験したことを各カードに書く。	・おすすめしたいテーマ①～⑥とサイコロゲームの仕方を示したカードを提示する。 ・「～なら～がいいと思います。」「理由は～からです」等の文カードを提示する。 ・「事例」は自分の体験を入れると良いことを伝える。
	家庭学習課題	- 家庭学習課題の内容を確認 - 理由カード・事例カードを見直したり書き足したりする。	・カードには「理由」「事例」の表示と縦書きの罫線を付ける。
3	組み立てを考える 意見文を書く	めあて 読む人が行きたくなるように、自分の考え(意見文)を書こう - 理由と、それに関する事例を書いたカードを整理し、組み立てを考える。 - P88「たいせつ」P86の作例を参考に、意見文を書くときの組み立てを学ぶ。 - 自分の考えをはっきりと伝えるために、理由と、それに関する事例を挙げて、段落を分けて書く。	・段落相互の関係を視覚的につかめるように、デジタル教科書やプロジェクターを活用する。 ・文章にするのが苦手な児童には、つなぎ言葉を記したワークシートを活用する。 ・早く仕上げた児童には、第2第3のおすすめの場所について書いてよいことを伝える。
4	意見文を読み合う 学習を振り返る	めあて 友達や自分の意見文のいいところを見つけよう - ペアの相手を変えて意見文を読み合う。(一人3回以上) 「行ってみたいで賞」「役に立つで賞」「おもしろいで賞」などを例にして、互いの意見文の良さを認め合う。 - 自分の考えを相手に伝える文章を書くときに、どんな組み立てで書けばよいかを整理する。	・読み合う回数を増やすことで日本語での発表に自信が持てたり、多様な考えを知ったりすることができるようにする。 ・9月に編転入する児童に活用してもらうことを確認する。

<バリエーション>

- 事前準備 : 単元に入る前に学級通信等で取り上げたい話題を募集しておく。
- 「つかむ」・「書く」段階 : 取り上げたい話題や理由・事例・意見文を、タブレットで表現する。
- 「発表する」段階 : 意見文はテーマごとに教室の各コーナーに掲示する。意見文の横には「行ってみたいで賞」「役に立つで賞」「おもしろいで賞」などのカードを入れるための封筒も付けておく。
- 他のクラスと合同で発表会を行う。ガイドブックにする。
- ICTを活用し協力校の友だちに向けて発信する。クラスの代表の意見文をウェブサイトに掲載する。